

湯沢砂防だより

土木フェスティバルで土石流体感3Dシアターを ～400名が体感しました～



3Dシアター土石流を体感



模型を用いて、
砂防堰堤の役割を説明

10月14日(日)長岡市内「国営越後丘陵公園」にて、第29回土木フェスティバルが開催されました。

湯沢砂防事務所では、「土石流体感3Dシアター」を用いてご来場いただいた地域の方々に、迫力ある3D映像や揺れる椅子で土砂災害を体感してもらいました。土石流災害の恐ろしさだけでなく、事前の準備の大切さ、実際に避難する際のタイミングなど家族や友人と考えるきっかけになってほしいと思います。

また、大量の土砂が流れている様子を捉えた映像や土石流ミニ模型を用いて、砂防施設がどのような働きをしているかを説明し、砂防事業について理解を深めてもらいました。この他にも、会場では降雨体験装置・照明車・地震体験装置などにより、多くの方々に土木に親しんでいただける内容となっていました。

土石流体感3Dシアターで体験したことを思い出し、土砂災害の前兆現象や危険性、避難の大切さ等について理解を深めていただきたいと思います。



土砂災害防止のパネルを展示



土木フェスティバルの風景